

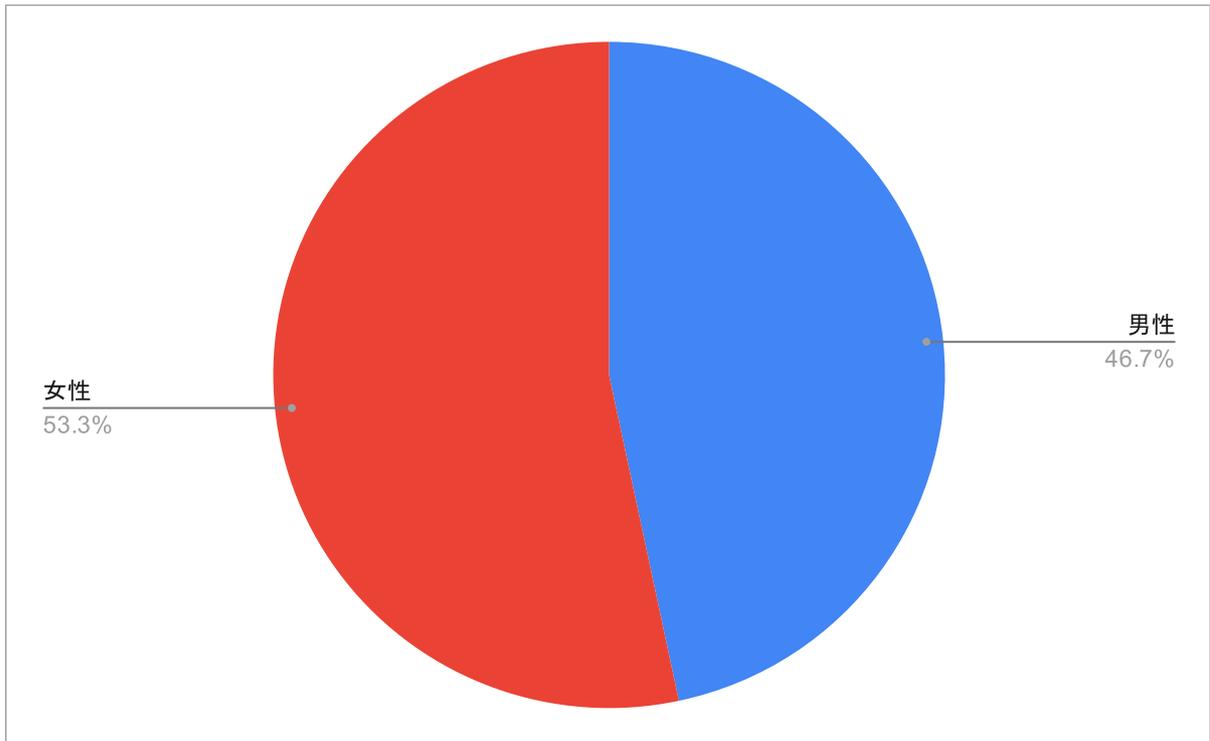
映画「遠い山なみの光」に関するアンケート調査

1 調査の概要

調査日	2026年2月20日
調査機関	クラウドワークス
調査方法	選択式・記述式アンケート
調査数	30名
調査対象	映画「遠い山なみの光」を視聴したことがある人

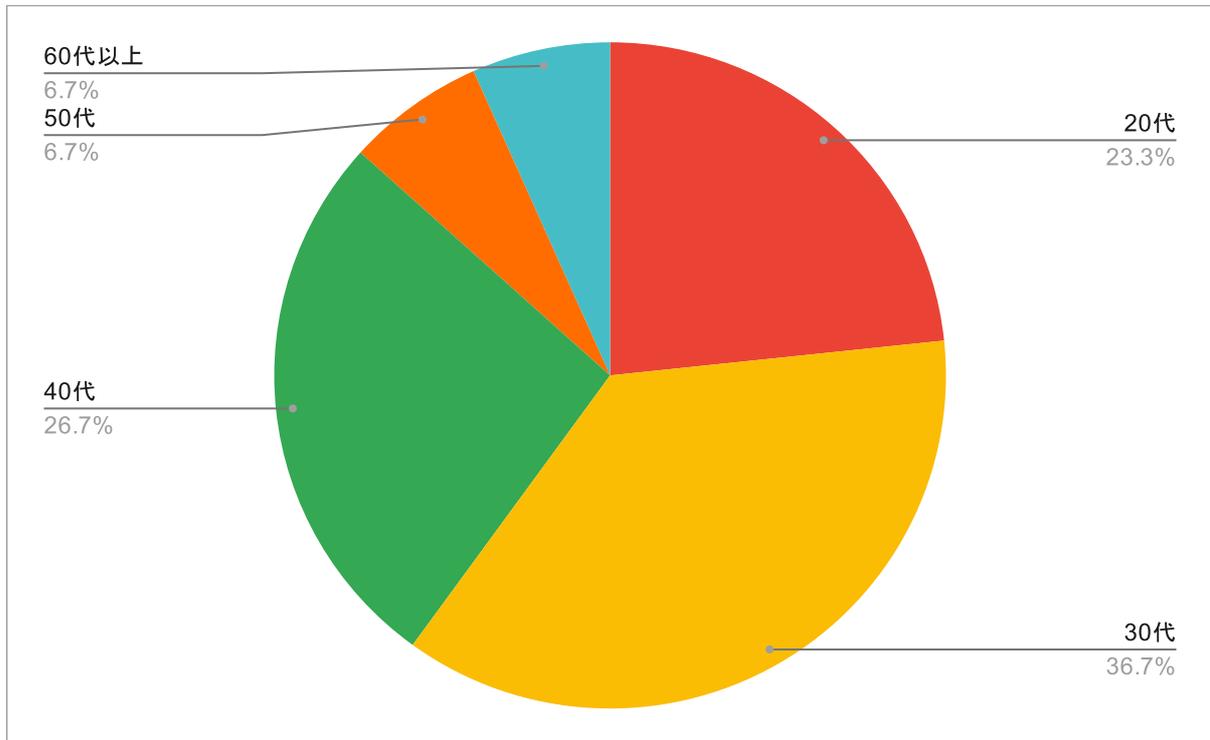
2 調査の結果

回答者の性別



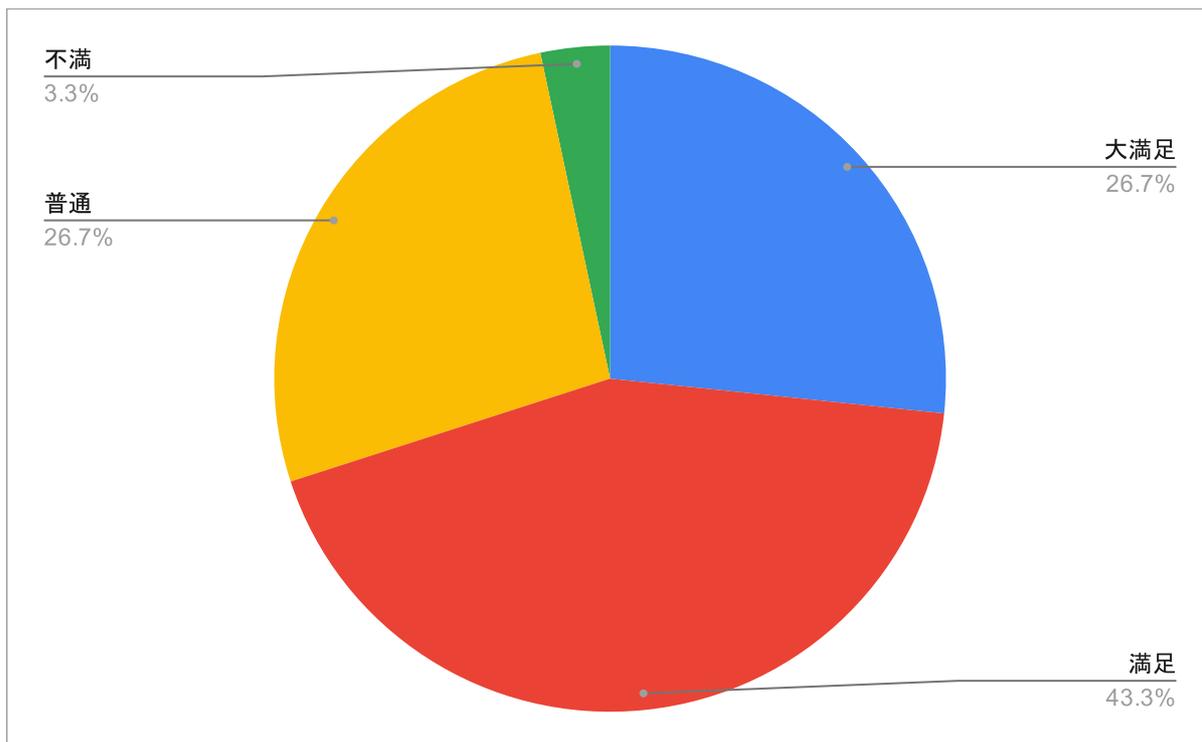
性別	回答者(30名)
男性	14名
女性	16名

回答者の年齢



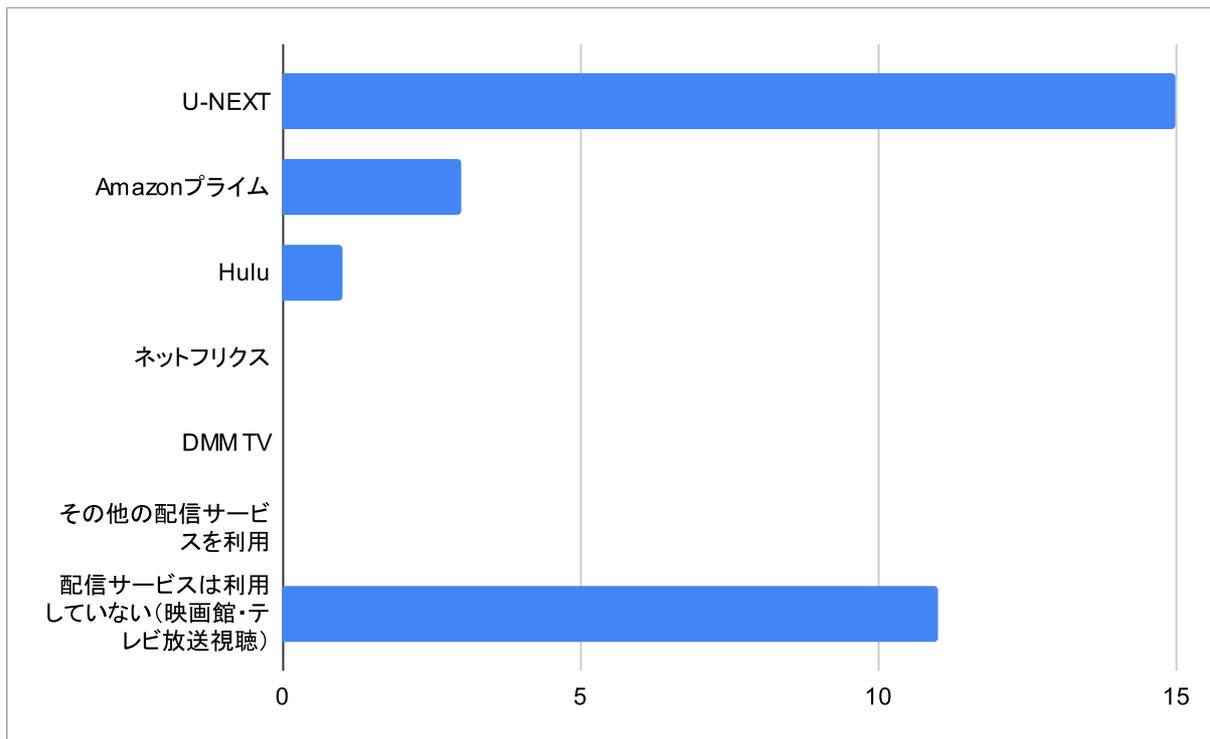
年齢	回答者(30名)
10代	0名
20代	7名
30代	11名
40代	8名
50代	2名
60代以上	2名

視聴後の満足度



満足度	回答者(30名)
大満足	8名
満足	13名
普通	8名
不満	1名
とても不満	0名

「遠い山なみの光」は何で視聴しましたか？



配信サービス	回答者(30名)
U-NEXT	15名
Amazonプライム	3名
Hulu	1名
ネットフリクス	0名
DMM TV	0名
その他の配信サービスを利用	0名
配信サービスは利用していない(映画館・テレビ放送視聴)	11名

「遠い山なみの光」の感想を教えてください

年齢・性別	感想
30代 女性	戦後間もない長崎を背景に、記憶と現在が静かに交錯していく構成が印象的でした。登場人物の何気ない会話や沈黙の間に、言葉にできない後悔や孤独がにじみ出ていて、観終わったあともしばらく余韻が残りました。派手な展開はありませんが、母と娘の関係性や選択の重みについて考えさせられる作品でした。
30代 男性	派手なアクションはありませんが、登場人物たちの沈黙や視線の動きに多くの感情が込められており、非常に見応えがありました。悦子と娘たちの関係、そして回想に登場する佐知子と万里子の親子関係が鏡のように重なり合う構成が秀逸です。過去の過ちや後悔を抱えながら生きていくことの重みが静かに伝わってきて、観終わった後もしばらく余韻に浸ってしまいました。
30代 女性	数年ぶりに実家に帰ったことから、自分が聞いたことのない母親の過去の話を聞くうちに、自分の中で感じていた違和感の正体が何かをじわじわと感じ取っていくと同時に、客観的な出来事と母親目線で感じた経験した出来事は、自分に都合よく解釈して昇華していくのだと思った。
30代 女性	ミステリーと言われているけれど、最後の結末も予想はできたので、ミステリーとしてはちょっと弱かなって思います。けれども唯一の被爆国として、彼女がどんな事を感じて思ったのか、見終わったあとに色々と考えてしまった。
20代 女性	とにかく景色の描写と登場人物の感情のリアルさが印象に残ったことです。山や光の描写がまるで自分の目で見ていくかのようで、心が落ち着く瞬間が何度もありました。
20代 男性	静かな日常の中に揺れる心の影がそっと浮かび上がり、胸の奥がひりひりする感覚が残りました。言葉にできない想いが余韻となって残り、静かに心を揺らす作品でした。
40代 男性	曖昧な回想シーンが印象的で、過去の自分を肯定したいという想いと、消せない罪悪感が、遠い山なみという象徴的な風景に重なって、観終わった後は何とも言えない余韻がありました。
30代 女性	登場人物達のやりとりや感情が複雑に絡んでいて、難しい内容だと思いつつも、メッセージ性を感じ、心に残る作品だと思いました。
40代 女性	キャスト人がとにかく豪華でした。日本だけでなくイギリスとポーランドと合作って、内容も豪華。ストーリーが複雑で、原作を読みたい。
40代 男性	よい意味で観ているこちらまで歯痒い気持ちになれましたし、それぞれ登場人物の演技力も素晴らしくて感情移入しやすかったです。
40代 女性	自分自身としては長崎の再生と希望に満ちた雰囲気美しい映像で表現されていて魅力的であり、感動をしたことです。
20代 女性	たくさんの主要キャラクターたちが登場して、多層的に絡み合うストーリーが面白かったです。小説ではわからなかったこともわかった
30代 女性	戦後の長崎と現代のイギリス、二つの時間軸が重なり合う静謐な世界観に引き込まれました。主人公の記憶の曖昧さや、過去の出来事を他人のことに語る切なさや、繊細な演出から伝わってきて胸が痛くなりました。直接的な説明が少ない分、俳優たちの表情や美しい風景から、言葉にできない喪失感がじわじわと伝わってきました。
20代 女性	登場人物(特に若き日の悦子と佐知子)の関係性や、回想シーンの真実味に疑問が残る展開が多く、見終わった後に深く考察したくなる文学的な映画です。
30代 女性	映画『遠い山なみの光』を観て、最初は物語の深さに少し戸惑いながらも、いつまでも心に残る余韻がありました。戦後の長崎とイギリスという異なる時代や場所を行き来しながら、母と娘の関係や“記憶”というものの曖昧さが丁寧に描かれていたのが印象的でした。主演の演技も静かに胸に響き、特に家族の過去を探っていく過程には引き込まれました。終盤の見せ方には賛否あるかもしれませんが、私は物語の余白や想像の余地が残るところも含めて、この作品の魅力だと感じました。
40代 女性	長崎を舞台としているから、方言での戦後を彩るんだけど、2人ともハイカラな役どころ。かたや、現代版となるイギリスでの吉田さんは英語…。語りが少ないだけに背景が物語る作品でした。
40代 男性	静かな物語なのに、心の奥にじわっと入り込んでくる作品でした。遠い山なみの光が象徴するように、手の届かないものへの憧れや、過去の記憶と向き合う切なさが丁寧に描かれていて、見終わった後もしばらく余韻が残ります。派手さはないけれど、日常の尊さを思い出させてくれる映画でした。
20代 男性	この時代の生活背景を知る事ができて良かった。広瀬すずの演技が素晴らしかった。原作の方をも読んでみようと思ひ読みました。
50代 男性	戦後の長崎と1980年代のイギリスを行き来する構成が印象的で、広瀬すずらが繊細な演技で記憶と喪失、母娘の関係を深く描き出す、余韻の残るヒューマンミステリーでした。
60代以上 男性	全体に漂う静かな緊張感が印象に残りました。はっきりと答えを示さない場面が多く、観る側に解釈を委ねる作りになっていて、少し戸惑いもありましたが、その曖昧さがこの作品の持ち味だと感じました。戦後の空気や登場人物の孤独が淡々と描かれていて、華やかさはないものの重みのある物語でした。観終わった直後よりも、時間がたつほど考えさせられる映画だと思っています。

40代 男性	広瀬すずさんがとにかく美しく最高でしたね。イギリスや長崎などグローバルに広がる世界がとても興味深くてミステリーの要素を深く孕んでいるのがとても面白い部分です。物事の本質や裏側を色々とストリート共に紐解いていく流れがとても面白いです。
30代 男性	静かで淡々と進む物語の中に、言葉にしきれない感情がじわりと滲む作品でした。表面上は穏やかな日常が描かれているのに、登場人物たちの心の奥には不安や後悔、説明のつかない孤独が沈殿していて、その“静かな重さ”が観る側に長く残ります。特に、過去と現在がゆるやかに交錯していく構成が、記憶の曖昧さや人間関係の複雑さをより際立たせていて、見終わったあとに「何を信じるべきか」「どこまでが本音なのか」を考えさせられる余韻が強い作品だと感じました。
30代 男性	静かで情緒的な雰囲気の良い映画。メインキャストが演技力のある人ばかりなので、それだけでも見ごたえがありました。少しファンタジックで難解な部分もありましたが、原作がカズオ・イングロということで、なるほど。
50代 女性	静かで淡々と進む物語の中に、登場人物それぞれの心の奥にある孤独や葛藤が丁寧に描かれていて、じわじわと引き込まれました。映像の雰囲気や間の使い方がとても印象的で、観終わった後に深い余韻が残る作品でした。登場人物の選択や言葉の裏にある感情を考えながら観る事で、より味わい深く感じられました。
20代 男性	原作は未読。繊細な心理描写を得意とするカズオ・イングロの小説を映像化するのは難しい。シーン量のバランスが悪い。教育者が戦前の価値観を責められる場面がボリュームを持ちすぎ。映画は記憶の書き換え、嘘がミルフィーユのように重なっている。何故そうなったのかそこを描いてほしかった。未消化
20代 男性	カズオ・イングロさんの原作が持つ、静かでありながら心の奥底に波紋を広げるような独特の空気感が見事に映像化されていて圧倒されました。主演の倍賞千恵子さんの抑えた演技が素晴らしく、過去の記憶と現在が交錯する中で見せる繊細な表情の変化から目が離せませんでした。長崎の風景が持つ美しさと、そこに刻まれた消えない痛みが対照的に描かれており、人間の記憶の曖昧さや、語られない真実の重みについて深く考えさせられました。劇中に漂うどこか不穏で幻想的な雰囲気も、この物語の深みをより一層引き立てていたと感じます。観終わった後も、遠い山なみに差し込む光のように、静かな余韻がいつまでも心に残る稀有な作品でした。自分自身の人生や、家族との向き合い方を改めて見つめ直すきっかけをくれる、大人のための上質な映画だと思います。
30代 女性	原作を読んでいないので、難しい話だったのと、ラストの意味がよくわからなかった。
60代以上 男性	イギリスと長崎の原爆を題材にしたヒューマンミステリーだったと記憶しているが、自分にはあまりストーリー性に面白みを感じなかった記憶があります。
40代 女性	ちょっと混乱してしまいました。1回見ただけではなんかよく分からないくて、見終わった後頭の整理が必要でした。
30代 女性	文学的で全てを見せない作品なので、想像力を?き立てられますね。それぞれの演技力が高く、見応え抜群でした。